

疾病の成り立ちと回復の促進 ①

病態生理学



電子版あり

●B5判 416頁 カラー 定価3,960円(本体3,600円+税10%) ISBN978-4-8404-7833-5 第7版 2023年1月

本書の内容

- 第1章「病理病態論」では、病気の発生機序＝正常からの変化にはどのようなものがあるのか、疾病の起こるメカニズムをわかりやすい表現と豊富な図表で説明していきます。
- 第2章「疾患論」では、第1章で学んだ正常からの変化が起こった結果、各臓器ではどのような形で疾患として現れるかを知るために、器官系統別に主な疾患を簡潔に解説しています。
- 第3章「病態症候論」の特設ページ「症候と疾患の関係」では、臨床現場において、複数の症候から疾患を特定するときの思考イメージを一例として示しています。
- 第3章「病態症候論」では、身体の不調がどのように現れるか、実践的にとらえられるように、よく遭遇し、かつ重要な症状・症候を学びます。
- 第1・3章には、節ごとに「臨床場面で考えてみよう」と、それに対する「考え方の例」を掲載。学習したことを身近な現象や看護と結び付けて考え、考察例とともに振り返ることで、より実践的な理解を深めます。

編集

山内 豊明 放送大学大学院文化科学研究科教授、名古屋大学名誉教授

執筆(掲載順)

山内 豊明	放送大学大学院文化科学研究科教授、名古屋大学名誉教授<1章序論・7節、2章序論、3章 症候と疾患の関係・序論・20・40節>	上田 康生	西宮市立中央病院泌尿器科部長<2章9節3・4項>
米田 誠	福井県立大学大学院健康科学部健康科学科長・特命教授<1章1節>	柳 東益	兵庫医科大学泌尿器科学助教<2章9節6・7項>
鬼島 宏	弘前大学大学院医学研究科病理生命科学講座教授<1章2・4節>	鈴木 透	宝塚市立病院泌尿器科主任部長<2章10節1・3項>
岡野 尚弘	杏林大学医学部腫瘍内科学助教<1章3節>	中塚 幹也	岡山大学学術研究院保健学域教授<2章10節2・4・5~9項>
金澤 寛明	トヨタ看護専門学校校長<1章5節>	唐澤 秀武	医療法人社団秀実会からさわクリニック院長<3章1節>
瀧川 博子	東京通信病院感染症内科主任医長<1章6節>	白畑 充章	埼玉医科大学国際医療センター脳脊髄腫瘍科准教授<3章2・22・23節>
三笥 里香	熊本大学大学院生命科学部看護学分野教授<1章7節、3章20・40節>	平野 明美	修文大学看護学部看護学成人看護学講師<3章3節>
河原崎宏雄	帝京大学医学部附属溝口病院第4内科准教授<1章8節>	石原 清	一般財団法人新潟県けんこう財団新潟健診プラザ施設長、新潟大学名誉教授<3章4・34・35・41節>
山田 幸男	新潟県保健衛生センター内科常任顧問<1章9節>	大森 豪	新潟医療福祉大学健康科学部健康スポーツ学科教授<3章5節>
清水 恵子	旭川医科大学法医学講座教授<1章10節>	伊藤 聡	新潟県立リウマチセンターリウマチ科副院長<3章6節>
加村 毅	社会福祉法人新潟市社会事業協会信楽園病院放射線診断科部長<1章11節>	田中 裕二	令和健康科学大学看護学部教授<3章7節>
山本 智章	新潟リハビリテーション病院院長<1章12節>	岡田 忍	川崎市立看護大学教授<3章8・15節>
八塩 章弘	市立大津市民病院救急診療科医長<2章1節>	村山 賢一	医療法人社団北辰会古町心療クリニック副院長・理事<3章9節>
磯田 菊生	順天堂大学医学部附属練馬病院循環器内科前任准教授<2章2節>	松野 一彦	北海道大学名誉教授(前 北海道大学病院検査・輸血部長)<3章10・19・29・30節>
三原 弘	札幌医科大学総合診療医学講座准教授<2章3節>	神島 滋子	天使大学看護栄養学部看護学成人看護学領域教授<3章11節>
立田 卓登	弘前大学大学院医学研究科消化器血液内科学講座助教<2章4節>	中神 克之	名古屋女子大学健康科学部看護学助教<3章12節>
薊 隆文	名古屋市立大学名誉教授、蒲郡市市民病院麻酔科、蒲郡市立ソフィア看護専門学校参与<2章5節>	木原 信市	元 熊本大学大学院生命科学部研究部教授、熊本大学名誉教授<3章13・14・37~39節>
矢野 邦夫	浜松医療センター感染症内科・感染症管理特別顧問<2章6節>	林正 健二	元 山梨県立大学名誉教授、元 京都橋大学健康科学部教授<3章16~18節>
和泉 唯信	徳島大学大学院歯薬学研究部臨床神経科学分野(脳神経内科)教授<2章7節1~5・7・9・13・16項>	田村 綾子	四国大学学際融合研究所看護学研究部門教授<3章21節>
高木 康志	徳島大学大学院歯薬学研究部脳神経外科学分野教授<2章7節6・8・10~12・14・15項>	泉野 潔	不二越病院顧問<3章24・32節>
萩野 浩	山陰労災病院院長、鳥取大学名誉教授<2章8節>	道又 元裕	一般社団法人 Critical Care Research Institute (CCRI) 代表理事<3章25・26節>
橘田 勇紀	鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部理学療法士<2章8節1・5・6・8・9項>	夏目恵美子	修文大学看護学部看護学講師<3章27・28節>
和田 崇	鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部理学療法士<2章8節2~4・7・10項>	熊本 俊秀	大分大学名誉教授、元 大分大学医学部総合内科学第三教授、元 九州看護福祉大学看護学助教<3章31節>
塩井 淳	大阪公立大学大学院看護学研究科健康支援基礎科学教授<2章9節1・2・5項、11節>	植村 研一	浜松医科大学名誉教授、元 聖路加国際大学教授、元 愛知医科大学看護学助教<3章33節>
		深田 順子	愛知県立大学看護学部看護学助教<3章36節>
		鎌倉やよい	元 日本赤十字豊田看護大学学長<3章36節>

シラバス・授業計画案あり

動画 20本収録



第1章で、疾病の起こるメカニズムを説明

第3章で、第2章の疾患でみられる主な症候を解説! 症候から疾患を調べることもできる

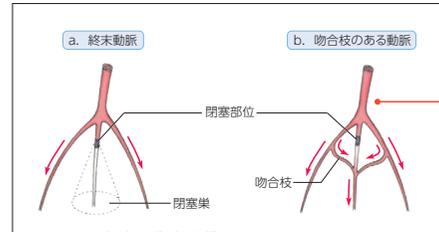


図1.7-3 梗塞と動脈の種類

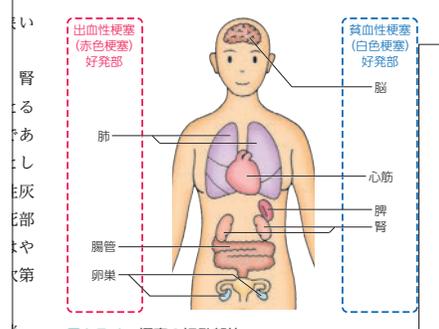


図1.7-4 梗塞の好発部位

p.90

第2章で、各臓器ではどのような形で疾患として現れるか、簡潔に解説

12 心筋梗塞

1 | 病態
●不安定プラークが破綻し、急激な血栓形成、冠動脈の完全な心筋梗塞と呼ぶ(図2.2-20)。

3 | 主な症候
●胸痛: 激しい胸痛・胸部絞扼感、左上肢に放散(痛みは30分程度持続)
●顔面蒼白、冷汗、不安感
●合併症による症状: 不整脈による動悸、心不全*症状など

p.159・160

目次

第1章 ● 病理病態論
序論: 人間の身体における本来の構造・機能とその乱れ/遺伝子異常/細胞傷害・変性と細胞死/腫瘍/炎症と修復/免疫異常/感染/循環障害/体液異常/代謝異常/中毒/放射線障害/外傷

第2章 ● 疾患論
呼吸器の疾患/循環器の疾患/消化器の疾患/血液・造血器の疾患/免疫・アレルギー疾患/感染症/脳・神経の疾患/運動器の疾患/腎・泌尿器の疾患/生殖器・乳腺の疾患/内分泌・代謝疾患

第3章 ● 病態症候論
症候と疾患の関係/序論: 身体の不調はどのように現れるか/痛み/頭痛/胸痛/腰痛/背部痛/関節痛/高体温・低体温/倦怠感/睡眠障害/皮膚掻痒/食欲不振/悪心・嘔吐/体重増加・体重減少/肥満/浮腫/脱水/尿量異常(乏尿・無尿・多尿)、排尿回数の異常(頻尿)/尿所見異常/リンパ節腫脹/ショック/意識障害/けいれん/めまい/嘔声/呼吸困難/咳嗽、喀痰、咯血/チアノーゼ/不整脈/貧血/レイノー症候/感覚過敏・鈍麻/しびれ/運動麻痺、運動失調/腹水、腹部膨満/摂食嚥下障害/吐血/下血/下痢/便秘/黄疸

おすすめ副読本

ナーシング・サプリ「改訂2版 イメージできる 病態生理学」詳細は P.126へ



疾病の成り立ちと回復の促進 ②

臨床薬理学



電子版あり

B5判 360頁 カラー 定価3,740円 (本体3,400円+税10%) ISBN978-4-8404-7834-2 第7版 2023年1月

本書の内容

- 「1章 医薬品総論」で、医薬品とはなにか、医薬品の作用原理、注意点、また臨床で適切に医薬品を使用していく流れと注意点を学び、2〜14章の各論で疾患ごとに必要な薬品と、特徴的な作用・注意点について学び構成になっています。与薬の当事者である看護師が、安全に薬物療法を行うために必要な視点を特に重視し、臨床に出てからも活用できる内容になっています。
各論では、薬剤の理解に必要な解剖生理、病態、微生物学などを冒頭でコンパクトに解説し、薬剤が疾患や症状を改善していく理由が一冊で理解できます。
AR動画も充実させました。薬物動態や薬理作用など薬理学に関する動画はもちろん、解剖生理、検査、与薬技術についての動画も収録し、学生さんが「ちょっと知りたい」と感じたときにすぐに学べるようになっています。
疾患治療の代表的な薬剤は表にまとめ、薬理作用、薬物有害反応(ADR)、安全面で重要なこと、看護における注意点の4項目について、重要なポイントを抽出。また、主要な疾患については、薬剤が作用するポイントを病態と合わせて図解しました。
コラムやplus αで発展的な内容や最新の情報も紹介しています。一歩進んだ医薬品、薬物療法の理解へ導きます。

編集

赤瀬 智子 横浜市立大学大学院医学研究科看護生命科学分野教授 柳田 俊彦 宮崎大学医学部看護学科統合臨床看護科学講座臨床薬理学教授

執筆(掲載順)

柳田 俊彦 宮崎大学医学部看護学科統合臨床看護科学講座臨床薬理学教授 <序章, 1章1〜3節>
池田 龍二 宮崎大学医学部附属病院薬剤部薬剤部長 <1章1〜3節, 3章, 5章>
荒井 有美 北里大学病院医療安全推進室副室長・医療安全管理者、看護師長/北里大学看護学部臨床教授 <1章4節, 6章>
神 一夢 北里大学病院薬剤部係長 <1章4節, 6章>
平原 康寿 宮崎大学医学部附属病院薬剤部副薬剤部長 <2章, 5章>
関屋 裕史 宮崎大学医学部附属病院薬剤部副薬剤部長 <3章>
赤瀬 智子 横浜市立大学大学院医学研究科看護生命科学分野教授 <4章, 10章, 11章, 13章>
柳田 俊彦 一般社団法人日本病院薬剤師会会長 <7章, 8章>
有馬 純子 鹿児島市立病院薬剤部部長 <7章>
内田まよこ 同志社女子大学薬学部医薬薬学臨床薬学教育研究センター教授 <8章>
後藤 洋仁 横浜市立大学附属病院薬剤部 <9章>
磯濱洋一郎 東京理科大学薬学部薬学教授 <10章>
梶岡 俊一 国際医療福祉大学薬学部薬学科/福岡山王病院泌尿器科教授 <12章1節>
小西 晴久 IVFなんばクリニック医師 <12章2節>
大澤 翔 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院手術部看護師長、高度実践看護師/周麻酔科看護師 <14章>

目次

特設●医薬品刑形まとめ表

序章●看護学生が臨床薬理学を学ぶ意義

第1章●医薬品総論

医薬品とは/医薬品の作用原理とその影響/薬物動態学/医薬品の適正な使用に向けて

第2章●感染症に使用する薬

感染症/抗微生物薬(抗菌薬・抗ウイルス薬・抗真菌薬)

第3章●免疫疾患・アレルギー・炎症に使用する薬

免疫のしくみ/自己免疫疾患の治療薬/炎症(痛み・発熱)の治療薬/アレルギーの治療薬/予防接種

第4章●がんに関する薬

がんとは/がんの薬物療法/細胞障害性抗がん薬/分子標的治療薬/免疫チェックポイント阻害薬の有害作用とその対策/がん性疼痛に使用する薬

第5章●末梢神経に作用する薬

神経系概論/交感神経に作用する薬/副交感神経に作用する薬

第6章●脳・中枢神経系疾患で使用する薬

中枢神経系の働きと薬/抗てんかん薬/パーキンソン病治療薬/認知症(アルツハイマー型認知症)の治療薬/精神疾患に用いる薬(向精神薬)

第7章●循環器疾患に使用する薬

循環器と循環器疾患/高血圧/低血圧/不整脈/狭心症/心不全/心筋梗塞/動脈硬化/脳卒中/肺高血圧症

第8章●血液・造血器疾患に使用する薬

血液のしくみ/貧血治療薬/播種性血管内凝固症候群治療薬/血友病治療薬/特異性血小板減少性紫斑病治療薬

第9章●代謝/内分泌疾患に使用する薬

代謝/内分泌疾患

第10章●呼吸器疾患に使用する薬

呼吸器/気管支喘息治療薬/鎮咳薬/去痰薬

第11章●消化器疾患に使用する薬

消化器系の構造と機能/消化器系疾患に使用する薬の分類と特徴

第12章●泌尿器・生殖器疾患に使用する薬

泌尿器/男性生殖器疾患の治療薬/女性生殖器疾患の治療薬

第13章●感覚器疾患に使用する薬

皮膚疾患の治療薬/眼科疾患の治療薬/平衡感覚障害の治療薬

第14章●周術期・救命救急時に使用する薬

周術期・救命救急時に使用する薬の特徴/医薬品投与による緊急事態/ショックに対して使用する薬/薬物中毒の治療に使用する薬/救命カートに必要な薬/輸液製剤/麻酔時に使用する薬/輸血療法

シラバス・授業計画案あり

動画 20本収録

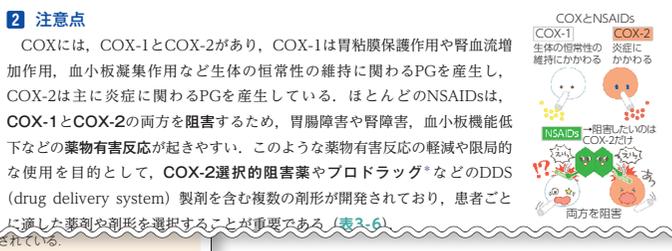


Table with 2 columns: 一般名(商品名), 薬理作用, 薬物有害反応(ADR), 安全面で重要なこと, 看護における注意点. Rows include Metolrexate, Melcaptoprin, Sitarabin, and Aspirin.

看護における注意点を記載

図・イラストで理解を促進

コラム 多職種連携による結核治療
罹患率は少なくはなっていない結核だが、治療の成功率は決して高くない。相互作用の管理や長期にわたる服薬継続が求められる薬物治療となるため、アドヒアランスの維持には、多職種での連携が必要である。これに対する取り組みとして導入されたのが直接監視下短期化学療法(directly observed treatment, short-course: DOTs)である。結核患者のサポートのために海外で考えられた概念で、抗結核薬を、決められた日に決めることを目的とする。医師、保健師、家庭訪問員が治療薬を処方し、患者の服薬状況を監視し、患者の服薬成功率が上がり、治療の機会が減少が期待されている。



コラム 多剤耐性結核菌
近年、INRとRFPに耐性を示す多剤耐性結核菌が問題となってきている。結核菌耐性化の機序には、薬剤に対して菌が耐性を獲得する耐性獲得、耐性獲得した結核菌が感染する耐性菌感染、結核感染後に別の耐性結核菌の感染を受けて発症する再感染発病の主に三つが考えられる。治療に際しては、治療歴、耐性菌接触歴、合併症を考慮して標準治療が選択可能かどうか判断が必要となる。また、標準治療を開始した場合、日本ではおよそ2カ月以内に薬剤感受性検査結果が判明するが、INH耐性RFP感性的患者の場合、判明が遅れるとRFP単剤治療となり、さらに耐性獲得が起こりやすくなる。標準治療での治療開始後、耐性とわかった時点で薬剤を変更する必要がある。そのため、多剤耐性結核菌の治療成功には感受性検査を行うということが必須であると考えられる。治療薬としては標準治療の薬剤のほか、キノロン系やリネゾリド、アミカサンなどが結核菌には有効とされている。ただし、国内では結核治療には未承認であり、注意が必要である。さらに、これら治療薬にも耐性を示したものを超多剤耐性結核菌と呼び、治療がさらに難治することが予想される。

少し発展的な内容のコラムでより薬物療法への理解を深める

おすすすめ副読本 ナーシング・サプリ「改訂2版 イメージできる臨床薬理学」 詳細はP.126へ



臨床微生物・医動物

電子版あり

●B5判 280頁 カラー 定価3,520円(本体3,200円+税10%) ISBN978-4-8404-8156-4 第5版 2024年1月



本書の内容

- 細菌、真菌、原虫、寄生蠕虫、節足動物、ウイルス、プリオンなどの生物学的な特徴を図表を用いて解説し、それぞれの違いを理解しやすくまとめています。
- 感染防御機構の基礎や感染についての分類を丁寧に押さえ、感染症発症のしくみを論理立てて学べるようにしています。
- 各感染症の解説に入る前に病原体の各論をまとめ、各病原体には模式図や顕微鏡写真を付けました。病原体の構造や性質が感染の成立、症状、検査、予防などどのように関連するのかが理解しやすい構成としています。
- 事例(臨床場面を考えてみよう)を数多く掲載し、病原体や感染症の知識を臨床場面と結び付けられるように工夫しています。
- 感染症の検査・治療・予防や行政の対応について最新の情報をもとに解説し、実践的・社会的な視点が養えるようにしています。

編集

矢野 久子 名古屋立大学大学院看護学研究所感染予防看護学教授 四柳 宏 東京大学医学研究所先端医療研究センター感染症分野教授
 安田 陽子 元金城学院大学薬学部教授

執筆(掲載順)

安田 陽子 元金城学院大学薬学部教授 <本書「臨床微生物・医動物」で学ぶこと、臨床微生物・医動物一覧、1章、2章2節、3章3節、5章1節>
 矢野 久子 名古屋立大学大学院看護学研究所感染予防看護学教授 <臨床微生物・医動物一覧、2章1節、5章3節>
 太田 伸生 鈴鹿医療科学大学保健衛生学部教授 <臨床場面に出会う医動物、4章1・2節>
 小幡 由紀 金城学院大学大学院薬学研究所准教授 <2章2節、3章3節、5章1節>
 中村 敦 名古屋立大学大学院医学研究科臨床感染制御学教授 <3章1節>
 川島 正裕 国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科医長 <3章2節>
 井上 貴子 名古屋立大学病院中央臨床検査部部長 <3章4節>
 田中 靖人 熊本大学大学院生命科学研究部生体機能病態学分野消化器内科学講座教授 <3章4節>
 吉丸 洋子 熊本大学大学院生命科学研究部生体機能病態学分野消化器内科学講座特任助教 <3章4節>
 梶原 哲史 熊本大学大学院生命科学研究部生体機能病態学分野消化器内科学講座医員 <3章4節>
 渡邊 丈久 熊本大学大学院生命科学研究部生体機能病態学分野消化器内科学講座助教 <3章4節>
 吉川 寛美 名古屋立大学大学院看護学研究所感染予防看護学講師 <3章5節>
 市川 誠一 金城学院大学看護学部看護学教授 <3章6節>
 長谷川忠男 名古屋立大学大学院医学研究科細菌学分野教授 <3章7節>
 矢野 邦夫 浜松医療センター感染症内科・感染症管理特別顧問 <3章8節>
 脇本 寛子 名古屋立大学大学院看護学研究所性生殖看護学・助産学教授 <3章9節、4章4・10節>
 村端真由美 三重大学大学院医学系研究科看護学専攻准教授 <4章3節>
 青山 恵美 愛知医科大学看護学部感染看護学准教授 <4章5節>
 新改 法子 青森県立保健大学健康科学部看護学教授 <4章6節>
 福井 幸子 青森県立保健大学健康科学部看護学教授 <4章7節>
 大毛 宏喜 広島大学病院感染症科教授 <4章8節>
 安岡 砂織 名古屋立大学大学院看護学研究所感染予防看護学教授 <4章9節>
 馬場 重好 東京科学大学病院材料部特任助教 <5章2節>
 岡本 典子 名古屋立大学病院診療技術部臨床検査技術科 <6章1節>
 薊 隆文 名古屋立大学大学院看護学研究所先端医療看護学教授 <6章2節>

目次

臨床微生物・医動物一覧

臨床場面に出会う医動物

感染症の歴史と医学・医療の発展

第1章 ● 微生物・医動物とは

第2章 ● 感染症の分類と感染防御機構

感染症と臨床微生物・医動物/感染防御機構の基礎

第3章 ● 宿主の臓器・組織別にみる感染症と病原体

呼吸器感染症/結核/消化器感染症/肝炎/尿路感染症/性感染症/皮膚・粘膜の感染症/皮膚に発疹が出現するウイルス感染症とリケッチア感染症/脳・神経系感染症

第4章 ● 宿主の因子が影響する感染症と病原体

人獣共通感染症/寄生虫感染症/小児の感染症/母子感染/高齢者の感染症/日和見感染症/移植患者と感染症/手術・外傷と感染症/血管内カテーテル関連血流感染症/薬剤耐性菌

第5章 ● 感染・発症予防と行政の対応

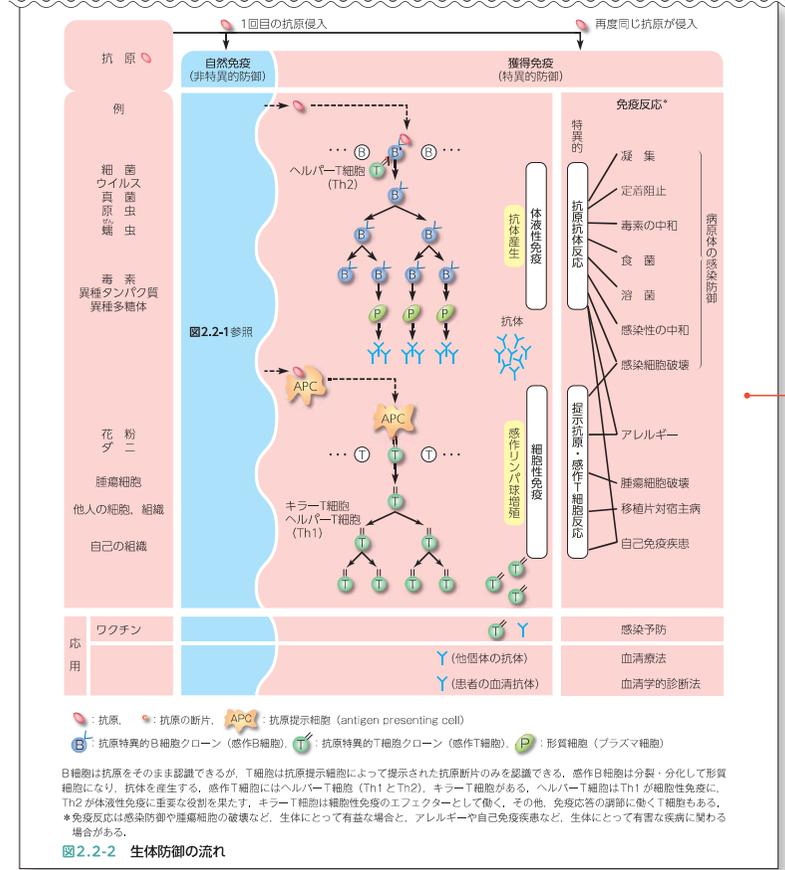
ワクチン接種と血清療法/洗浄・消毒・滅菌と環境の清掃/感染症法

第6章 ● 感染症の検査・治療

感染症検査と臨床微生物・医動物/感染症の治療

シラバス・授業計画案あり

動画 13本収録



感染や免疫のしくみを丁寧に解説

病原体を模式図付きで学べる

p.46

ウイルス サイトメガロウイルス: Cytomegalovirus (CMV)

1 形態・性状

- ウイルス粒子は直径約180nmで、中心のDNAが直径約100nmの正二十面体のタンパク質の殻(カプシド)に包まれ、タンパク質のテグメントと共に脂質二重膜のエンベロープで覆われている(図4.7-1)。
- サイトメガロウイルスの名称は、感染した細胞が巨大化することに由来し(cyto:細胞, megal:巨大)、感染細胞の核内にフクロウの眼様の封入体を形成する。

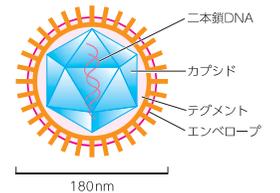


図4.7-1 サイトメガロウイルス(模式図)

臨床場面を考えてみよう

65歳、男性、一人暮らし。慢性腎不全で通院中。3日前から食欲不振と倦怠感が出現し、食事や入浴などができなくなったため救急車を要請し、腎機能の急性増悪、末期腎不全のため入院した。血管内カテーテルにより血液透析療法が導入された。2日目に39℃の発熱が出現し、カテーテル留置部の発赤が認められた。医師からの指示によって血液培養の検体を採取し、検査すると表皮ブドウ球菌が検出された。

①この場合、血管内カテーテル関連血流感染症の起炎菌はどこから侵入したと考えられるか。
 ②この事例において、血液培養検査のために血液(検体)を採取する際の注意点は何か。

- ①カテーテル挿入後(48時間)に発症していることから、起炎菌はカテーテル挿入部の皮膚から侵入したと考えられる。
- ②男性は倦怠感が続き入浴ができていなかった。そのため、皮膚汚染による検体汚染を防止する目的で、70%アルコールを使用して消毒回数を増やし、検体採取を行う必要がある。

用語解説*
血液透析療法
 急性腎不全、慢性腎不全の治療法の一つ。血液中の老廃物や余分な水分を取り除く方法である。血液浄化法の中で普及率が高く、腎不全の主要な治療法となっている。

学んだ内容を臨床場面と結び付けられる事例

p.202

p.188

疾病の成り立ちと回復の促進 4

臨床栄養学



電子版あり

●B5判 244頁 カラー 定価3,080円(本体2,800円+税10%) ISBN978-4-8404-7527-3 第6版 2022年1月

本書の内容

- 健康を支える日常の食事から、療養生活における栄養食事療法まで、学生が知識を積み上げ、統合して学びを深められるように構成しています。
- 各栄養素の役割、代謝の過程など、栄養学の基礎を正しく理解したうえで患者の栄養状態をアセスメントし、看護につなげられる判断力を養います。
- 「日本人の食事摂取基準(2020年版)」に準拠し、ライフステージごとの望ましい食生活を考えるとともに、現代に特徴的な問題として、生活習慣病や高齢者の低栄養・フレイルなどを取り上げています。
- 学会基準となる嚥下調整食「学会分類2021」を紹介。「口から食べる」ことが見直されている臨床の傾向を反映するなど、最新の栄養学から看護学生に必要な内容を精選し、解説しています。
- 「疾患別の栄養食事療法」の章を設け、臨床で活用できる栄養基準の考え方について解説しています。
- 患者への「栄養食事指導」の様子や、「栄養成分別コントロール食」の調理手順などを、ARの映像資料で視聴できます。

編集

開戸 啓子 宝塚医療大学和歌山保健医療学部看護学科教授

執筆(掲載順)

開戸 啓子	宝塚医療大学和歌山保健医療学部看護学科教授 <1章1節, 4章4節, 6章>	黒川 浩美	大阪青山大学健康科学部健康栄養学科准教授<3章3節1・2・5>
佐々木公子	元 美作大学生活科学部食物学科管理栄養士養成課程教授 <1章2節, 2章>	山本みどり	食と健康みどり企画代表<3章3節3・4, 4章3節>
田中 俊治	帝塚山学院大学食環境学部管理栄養学科非常勤講師 <1章3節, 4章2節>	大池 教子	独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター栄養管理室室長 <3章3節6>
久木久美子	大阪国際大学短期大学部栄養学科教授<3章1節>	塚田 芳枝	杏林大学医学部付属病院栄養部部長<4章1節>
武田ひとみ	大阪電気通信大学医療健康科学部健康スポーツ科学科教授 <3章2節>	竹市 仁美	神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程教授<5章1節>
		田邊 節子	元 兵庫医科大学病院栄養部部長<5章1節>
		本田 佳子	女子栄養大学名誉教授, 群馬バース大学医療栄養学部開設準備室室長<5章2~4節>

目次

第1章 ● 臨床栄養学の基礎知識 臨床栄養学の意義と看護/栄養とは/栄養アセスメント	第4章 ● 療養生活と栄養 治療による回復を促すための食事と栄養管理/栄養成分別のコントロール食/嚥下障害のある人のための食事/経口摂取できない患者のための栄養管理
第2章 ● 食品成分と食事摂取基準 食品成分とエネルギー/日本人の食事摂取基準(2020年版)	第5章 ● 疾患別の栄養食事療法 消化器系疾患/内分泌・代謝疾患/循環器系疾患/腎疾患
第3章 ● 日常生活と栄養 食文化/運動と栄養/人生各期における健康生活と栄養	第6章 ● 栄養食事指導の実践 健康増進のための栄養食事指導/食習慣改善のための栄養食事指導

シラバス・授業計画案あり

動画 16本収録



データを食育に生かす

p.117

1 摂食障害の原因になる疾患と障害部位

食事は口腔から食道に運ばれる(図4.3-1)。

- 第1相 口腔期
- ① 食物を認識し、口の中に食べ物を取り込む。
 - ② 噛み砕く(咀嚼):食物塊形成
 - ③ 咽頭に食物塊を送り込む。
- 第2相 咽頭期
- ④ 咽頭通過、食道への送り込み:嚥下反射
- 第3相 食道期
- ⑤ 食道通過(胃へ)

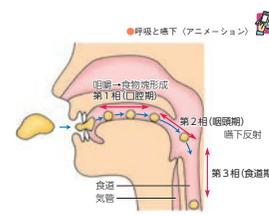


図4.3-1 咀嚼・嚥下の過程

摂食障害の原因になる疾患と障害部位を表4.3-1にまとめた。障害されている部位によって食事の対応が異なる。例えば、口腔期の障害んだ形態の食事にする事で咀嚼を助けることができる。咽頭部をスルーと通る形態の食事を作ることで下機能の評価チェック(表4.3-2)を行い、嚥下のことが大切である。嚥下機能の評価は訓練に適用する機能を高めることができる。食事を提供するとき嚥下性肺炎を起こさないように注意する。

2 嚥下障害のあるときの食事

- 嚥下障害があるときは次のような食品を選ぶ。
- ① 口腔から咽頭部の通過に差し支えない滑らかさずに摂食できるもの。
 - ② 噛まなくてもよいもの。

p.153

表3.3-7 学童期の食事摂取基準

年齢(歳)	推定エネルギー必要量(kcal/日)						たんぱく質推定量(g/日)		脂質目標量(%エネルギー)		カルシウム推定量(mg/日)		鉄推定量(mg/日)	
	男子			女子			男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
	I(低い)	II(ふつう)	III(高い)	I(低い)	II(ふつう)	III(高い)								
6~7	1,350	1,550	1,750	1,250	1,450	1,650	30	30			600	550	5.5	5.5
8~9	1,600	1,850	2,100	1,500	1,700	1,900	40	40	20~30* 1</td <td></td> <td>650</td> <td>750</td> <td>7.0</td> <td>7.5</td>		650	750	7.0	7.5
10~11	1,950	2,250	2,500	1,850	2,100	2,350	45	50			700	750	8.5	8.5(12.0)*2

*1 範囲についてはおおむねの値を示したものであり、弾力的に運用すること。
*2 ()内は月経ありの値である。
厚生労働省, 日本人の食事摂取基準(2020年版)。

3

口腔期・咽頭期

食事バランスガイド

あなたの食事は大丈夫?

1日に必要なエネルギーと食事量の目安

性別	年齢	エネルギー(kcal)	主食	副菜	主菜	牛乳・乳製品	果物
男子	6~9歳	1,400~2,000	4~5つ	5~6つ	3~4つ	2~3つ	2つ
女子	6~11歳	1,400~2,000	4~5つ	5~6つ	3~4つ	2~3つ	2つ
男子	10~11歳	2,200±200	5~7つ	5~6つ	3~5つ	2~3つ	2つ
女子	12~17歳	2,200±200	5~7つ	5~6つ	3~5つ	2~3つ	2つ
男子	12~17歳	2,400~300	6~8つ	6~7つ	4~6つ	2~3つ	2~3つ
女子	12~17歳	2,400~300	6~8つ	6~7つ	4~6つ	2~3つ	2~3つ

生活習慣病
食事、運動、休養、飲酒、喫煙などの生活習慣によって発症する疾患の総称。高血圧症、糖尿病、脂質異常症(高脂血症)、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患など。

2 日本人の食事摂取基準

日本人の食事摂取基準(Dietary Reference Intakes)は、個人および集団を対象として、国民の健康の保持・増進、生活習慣病の予防のために参照するエネルギーおよび栄養素の摂取量の基準を示すものである。人口構成や生活環境、食生活の変化に対応するため5年ごとに改定され、2020年版の使用期間は、2020(令和2)年度から2024(令和6)年度までの5年間である。策定の方向性を図2.2-1に示す。

1 策定方針

食事摂取基準の対象は、健康な個人および健康な者を中心として構成されて

p.71

最新の情報を掲載

おすすめ副読本

ナーシング・サプリ「改訂2版 イメージできる 生化学・栄養学」 詳細は P.126へ



「これだけは必要!」を着実に学べる大人気シリーズ

ナーシング・サプリ



イメージできる

解剖生理学 第2版

解剖生理学の「これだけは必須!」な知識を
確実に身に付ける問題集!

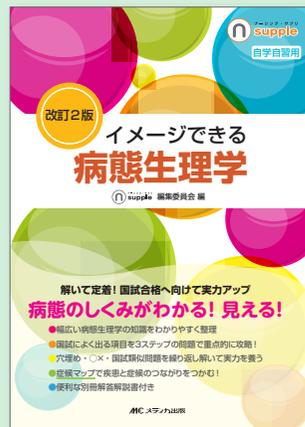
豊富な解剖図でビジュアルとともに楽しく基本が学べ、穴埋め・〇×・事例問題など多数の問題を繰り返し解くことで日々の予習・復習がスムーズになる。

定価2,860円
(本体2,600円+税10%)
●B5判 ●264頁
ISBN978-4-8404-8213-4

ナーシング・グラフィカ
「解剖生理学 第5版」
に準じた章構成に刷新!



シリーズラインナップ



“症候マップ”で
症例と疾患の
つながりや
全体像を把握

ナーシング・サプリ
改訂2版
イメージできる
病態生理学
定価2,640円
(本体2,400円+税10%)
●B5判 ●200頁
ISBN978-4-8404-6211-2



生化学と栄養学を
組み合わせて学び
理論と実践を
結びつけて学習

ナーシング・サプリ
改訂2版
イメージできる
生化学・栄養学
定価2,200円
(本体2,000円+税10%)
●B5判 ●128頁
ISBN978-4-8404-7222-7



薬理学が
楽しくなる
“使える”
副読本!

ナーシング・サプリ
改訂2版
イメージできる
臨床薬理学
定価2,420円
(本体2,200円+税10%)
●B5判 ●184頁
ISBN978-4-8404-7575-4



豊富な
事例で
“考える力”
を身につける!

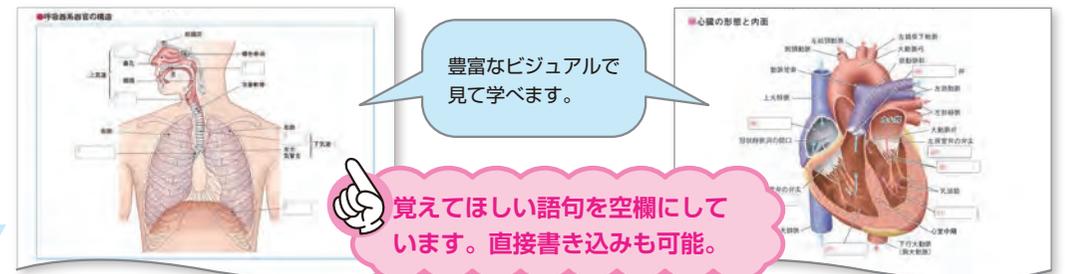
ナーシング・サプリ
事例でまなぶ
ケアの倫理
定価2,420円
(本体2,200円+税10%)
●B5判 ●176頁
ISBN978-4-8404-5755-2

特長

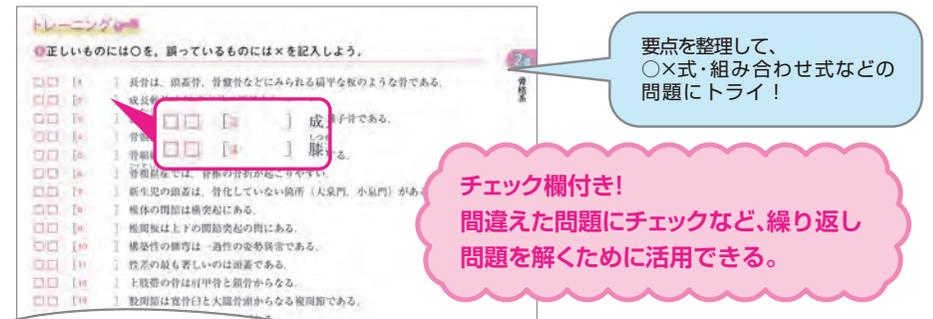
- 図版を豊富に掲載し、しっかりとイメージしながら学習を進めることができる
- これだけは必ず学ばべき知識を、繰り返し問題を解くことで身につけられるようにできており、予習・復習にも活用できる
- 看護師国家試験に向けて基礎学力を養うことができる

★脳に染みこむ 3Step学習法 覚え込むために、問題を国試出題頻度に応じて、3段階で展開

Step 1 知識の獲得 ビジュアルチェック&穴埋め問題で学習!



Step 2 知識の固定 〇×問題で知識を定着



Step 3 知識の再生 実力チェックで総仕上げ!

